

合格体験記

大阪府(小学校)に合格 T.I.さん

Q なぜ教師を目指したのですか？

A 大学入学時は教師になりたいという気持ちはほとんどありませんでした。生活が安定しているからという理由と、親が教師なので他の職業についてイメージが膨らまなかったので、教師を目指す道の入り口に立ちました。曖昧な気持ちで目指し始めたけれども、教育実習やボランティアに参加する中で実際に子どもたちとふれあってみる中で「楽しい！」と思い、教師になりたいと思い始めました。

Q 教員採用試験に向けて

①いつから勉強しましたか？

A 3回生の11月頃から始めました。

②勉強する際、どのような教材を使っていましたか？

A 教員採用試験参考書（教職教養Ⅰ・Ⅱ）、問題集（小学校全科、教職教養）、教職教養の過去問2008、一般教養の過去問2008、小学校全科の過去問2008

③息抜きの方法は？

A タバコ、コーヒー、遊びに出かけることです。

④眠気対策は？

A i-Pod、漫画、目薬

⑤1日何時間勉強していましたか？

A 月曜～金曜まではだいたい4時間。土・日と自宅では絶対に勉強はしていませんでした。

⑥大阪府以外の対策は？

A マーク式の回答方式に対応できるように、解くスピードに力を入れていました。例えば、過去問を設定時間の半分で解くなど、問題文と答えがすぐに繋がるように訓練していました。

Q 教職ナビについて

①どのような点が良かったですか？

A 同じ進路に向けての仲間ができたので、試験へ向けての支えになりました。

②教職ナビでは、どのような活動をしましたか？

A 主に面接対策だけ参加させていただきました。

Q 面接対策はどのようにしていましたか？

A ナビの面接対策に参加させてもらいました。面接での内容や講評、他の人の発言等をノートにまとめ、どんどん真似をしていきました。

Q 来年から教壇に立つわけですが、どのような先生になりたいですか？

A 子どものことを第一に考えて、一緒に活動できる先生になりたいと思います。また、子どものことを好きなふりができ、好きなふりから本当に好きになれるプロとしての教師になりたいです。

Q 後輩にメッセージをどうぞ。

A 「誰かが勉強しているから俺もその方法でやる。」じゃなく、自分なりの勉強のスタイルを見つけることが長期間の教員試験を乗り越える手段だと思います。後、いろいろな人に会うことや、いろいろなことをすることが面接に生きると思います。